

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種のめどが立ってきているため、人の動きは活発になっていくと考えている。
	○	商店街（代表者）	・景気は新型コロナウイルスの感染状況次第であり先行き不透明であるが、足元では、東京オリンピックの開催に向けて人々の動きが活発になってきていると感じる。当地域では、感染対策を実施しながら、できる範囲で経済活動を行っている状況である。
	○	商店街（代表者）	・春になり、人通りが増え、歓送迎会や花見等の予約も若干増加しているように思う。今後第4波の襲来によって、また景気が大きく冷え込まないか心配であるが、今のところはやや良いという状況であるとを感じる。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が小さくなり、客の生活が徐々にふだんどおりに戻ってくるため、景気が回復すると思われる。
	○	コンビニ（店長）	・足元では、急激な感染者数の増加のため来客数が減少したが、以前のような激減ではなくなった。今後は自粛を続ける客が通減し、徐々に来客数が回復すると考えている。
	○	コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種が拡大することにより諸外国のような良い変化があればいいと思う。
	○	衣料品専門店（経営者）	・依然として新型コロナウイルスの影響はあるが、そろそろ抑えていた購買意欲の反動により、景気は良くなっていくと感じる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・都市部では新型コロナウイルスの感染者数が増加しているが、当地域では少しずつ収束していくのではと期待している。例年4月から夏場にかけては繁忙期であるため、売上も少し良くなっていくのではないかと考えている。
	○	乗用車販売店（役員）	・緊急事態宣言の解除とワクチン接種によって人の動きが活発になることを期待している。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、家飲みのお酒の機会が増加が期待できるため、売上も良くなると思う。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症も下火になりつつあり、自粛の反動で客足の増加が見込まれるが、所得低下から客単価は減少すると思われる。
	○	一般レストラン（経営者）	・ワクチンの普及に頼るのみである。
	○	タクシー運転手	・4～6月にかけて、お遍路の仕事が入っており、このままの状態が続けば今より景気は良くなると思われる。しかし、全国的に新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、その先は不透明である。
	○	通信会社（営業担当）	・新生活に伴う需要や新プラン導入等による業界や客動向の活性化に期待している。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍の影響で、大都市集中型の国づくりが少しでも分散型国づくりの方向に動くことを期待したい。今後新たな種類のウイルスの感染が出現したり、大きな自然災害が発生するのは避け難いと思われる。それらに備えるためにも、それぞれの地域の個性や特性を發揮した魅力ある21世紀型まちづくりが各地で進展することを願望する。
	□	商店街（事務局長）	・聖火リレーがスタートし全国を巡ることで、今夏の東京オリンピックとパラリンピックへの期待が膨らみ、景気に明るさを取り戻すチャンスにはなっているが、新型コロナウイルス第4波の感染拡大を抑え込めないと消費は上向かないと思われる。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・年度末の需要で売上は何とか確保できたが、店頭の上は芳しくなく、この状態は当分続くと思われる。
□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・当面は新型コロナウイルスの影響が続き、人の動きはないと思われるため、今後も景気は変わらない。	
□	百貨店（営業管理担当）	・ワクチン接種が進む一方で、地方や都市部で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、第4波の影響を受けるとと思われる。	

□	スーパー（企画担当）	・ワクチン接種が進み、感染状況が収まらない限り、消費の上昇は見込めないと思われる。今の状況では消費が特定の業種だけに限定され、その他の業種では今後伸びていく見込みが立たない。
□	コンビニ（総務）	・季節的に来客数が増加傾向になることが予想されるが、新型コロナウイルス禍の状況が変化しなければ依然として今より良くなる見込みはない。
□	衣料品専門店（営業責任者）	・Go To Travelキャンペーンが再開できないことで、依然として外出に対して厳しい見方があるため、外出着の販売がメインである当社は、今後も業況の改善は見込めない。
□	家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルス禍が当分の間続くため、今後の見通しはみえてこない。
□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、収束への期待が高まりつつあるものの、景気の回復にはまだまだ時間が掛かる。
□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向にあるため、しばらくの間大きな変化はないと思われる。
□	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	・ワクチン接種が進み安心して外出できるようになるまで、景気の回復は望めない。
□	観光型旅館（経営者）	・低位に張り付いたまま推移すると思われる。
□	都市型ホテル（経営者）	・今後の見通しが全く立たない状況である。4月から始まる高齢者を対象としたワクチン接種に期待感はあるが、変異種株への感染や、東京オリンピックの開催に向けた国の動きに対して危機感を持っている。やはり、新型コロナウイルスの収束のめどが立っていないことが一番怖いと感じる。
□	旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークの客の動きも低迷する見込みである。新型コロナウイルス変異種の感染拡大や第4波に突入したとの報道等の影響が大きい。
□	タクシー運転手	・当地域では新型コロナウイルスの感染がやや収束しつつある。変異種の感染者も少数に抑えられており、このまま景気が横ばいの状況がしばらく続くと考えている。
□	通信会社（営業部長）	・現在の販売状況を見ると、新型コロナウイルスの第4波が襲来しても、ロックダウンにでもならない限り、過去のような買い控えや消費意欲が衰えることはないと考えている。
□	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が当面続くと思われる。
□	競輪競馬（マネージャー）	・東京オリンピックへの期待感の行楽シーズンの人手の増加、新型コロナウイルスの感染拡大などプラスとマイナスの要素が交錯し、景気は現在の水準で推移すると予想する。
□	設計事務所（所長）	・今後景気が良くなるか悪くなるか、判断することが非常に難しい状況だと感じる。
▲	一般小売店 [生花]（経営者）	・年度末の繁忙期にもかかわらず、街に人がほとんどいない状態であるため、イベント行事がないこれからのシーズンは余り期待できない。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大で経済活動が全般的に減退すると思われる。
▲	スーパー（財務担当）	・前年の新型コロナウイルス特需の反動減が大きい。
▲	家電量販店（店員）	・異動の時期が一段落すると売上も減少すると思われる。
▲	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大や決算キャンペーンの終了、半導体不足による納期の遅延等により、今後は苦戦すると思われる。
▲	観光遊園地（職員）	・3月以降、再び新型コロナウイルスのクラスター案件が発生したことにより、人の動きが止まっている。
▲	美容室（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、客がかなり敏感になってきている。今後の動きも読めない状況である。
▲	美容室（経営者）	・当地域では感染者数が再び増加してきたので、今後その影響が開始めると思われる。
×	コンビニ（店長）	・当地域では新型コロナウイルスの変異種の感染拡大も報道されており、前年と同じように4～5月は売上の減少が見込まれる。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第4波が始まったといえるなか、先がみえない状態である。
◎	税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチンが普及することで市場活動が活発になると思われる。

関連 (四国)	○	繊維工業（経営者）	・前年から当社のネット販売の売上が倍増している。オンラインストアでの販売に力を入れている店舗からの注文も旺盛で、観光地や旧来の販売形態である小売店からの受注減少をカバーしている。この傾向は今後も続くものと思われ、ワクチンが普及し感染者が徐々に減少してゆけば、景気が改善していくと感じる。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・住宅の契約棟数は回復傾向にあるので、ゆっくりではあるが景気も回復していくと思われる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・1つの案件に対する利益率は下落しているように感じるが、受注量は増加傾向にあることを勘案すると、今後景気は良くなっていくと思われる。
	○	輸送業（経営者）	・ワクチンの普及により、状況は改善していくと思う。
	○	輸送業（経理）	・新型コロナウイルスによる影響は懸念されるものの、客からは今後の出荷計画は増加する見込みであることを聞いている。
	○	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの段階的収束に伴い、消費者行動が回復する。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、売上也伸びないと予想する。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌のウェットクリーナーの需要は高いが、供給量も多いため売行きは横ばいである。病院等で使用するパケツ型のウェットクリーナーの販売量は少しずつ増加しているが、フェイスマスクはインバウンドが消失したことで、売行きが悪い状態である。
	□	化学工業（所長）	・緊急事態宣言は解除されたものの、沈静化していない地域もある。また、原油やナフサの高騰により原料単価も高騰するため、しばらく景気は変わらないと考えている。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・1～2月にかけては受注量の回復が見られたものの、3月以降の見込みは立っていない状況である。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルス特需による販売が落ち着き始めている。
	□	建設業（経営者）	・例年、年度当初は手持ち業務量が減少するが、発注時期や納期の平準化などの施策効果により減少率は小さい。これは公共事業政策の賜であり、手持ち量がある程度持ったまま事業を継続できるので、会社財務的にもリスクが少なく、少なくとも今後2～3か月の景況感是不変である。
	□	建設業（経営者）	・新年度に期待するしかないと考えている。
	□	輸送業（営業）	・新型コロナウイルスについては、従来型よりも感染力が強く、ワクチンの効果を低下させる可能性が指摘されている変異種株の感染が拡大していることや、緊急事態宣言解除後の感染再拡大による第4波襲来の懸念が高まっている。いまだ収束が見通せない状況にあることから、消費者の不安払拭には至っておらず、景気の先行きは極めて不透明である。
	□	通信業（企画・売上管理）	・前年同時期と比べると売上は大きく上回ると予想するが、直近では同じ水準で推移している。
	□	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルス第4波の発生がなかった場合は、全体の景気は徐々に良くなると想定される。当社を取り巻く環境は比較的新型コロナウイルスの影響に左右されることが少ないため、今後2～3か月の売上はそれほど変わらないと考えている。
	□	広告代理店（経営者）	・新年度から客の販促広告の増加を期待していたが、一部の客以外は新型コロナウイルスの第4波への心配が続いている。4月以降も販売促進広告等に対して慎重な客が多く、またイベント等の開催も難しい状況が続くため、全体としては余り変わらないと予想する。
	▲	農林水産業（職員）	・4月から日販品を中心に値上げが報道されており、このような状況下で影響を大きく受けるのは青果物であることが過去に検証されている。また、新型コロナウイルスの第4波の襲来は確実視されており、景気への影響は避けられそうにない。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外では新型コロナウイルスの感染再拡大や点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	・景気の浮き沈みはあるものの、少しずつではあるが求人数も増えつつあり、回復傾向にあると感じる。

(四四)	<input type="radio"/>	職業安定所（職員）	・求職者、求人者共にある程度現在の状況に慣れてきていると感じる。手探り状態だった前年度や今月と比べるとやや良くなると思われる。
	<input type="radio"/>	民間職業紹介機関（所長）	・東京オリンピックの影響で少しずつ上向きになる可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・依然として厳しい業界もあり、求人が多いという状況ではない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業）	・東京オリンピック開催に向け、聖火リレーや関連行事の集客イベントにより景気も上向き見込みであるが、第4波の襲来により緊急事態宣言が発出された場合は、該当地域の住民にとっては気軽に東京オリンピックを楽しめる状況にならないことが課題となる。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り求人数は増加してきたが、今後都市部での緊急事態宣言の解除に伴う第4波が懸念される。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・回復基調の業種も広告費を抑える傾向にあるが、落ち込みをカバーする方策を立てて推進していこうと考えている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーン等により人の動きが若干増加し、状況は緩やかに改善していたが、1月に11都府県で緊急事態宣言が発出されたことで状況は悪化した。現在、緊急事態宣言は解除されているが、この悪化した状況は急激には回復せず、第4波襲来ともいわれているなか、今後2～3か月の状況は変わらないと考えている。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの第4波の感染拡大が懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	求人情報誌（営業）	・サービス業での求人数が減少を続けており、回復傾向がみられないため、景気は悪化すると判断する。
<input type="checkbox"/>	—	—	